外部評価軽減要件確認票

事業所番号	237500826
事業所名	グループホーム若宮

【重点項目への取組状況】

	事業所と地域とのつきあい(外部評価項目:2)	評価				
重点項目①	ごみ収集場所の掃除が輪番で回ってきており、防災訓練にも仲間に加えてもらえ、地域に溶け込んだ活動ができています。また目の前は学童の通学路となっているため、事業所では子どもたちの往来にも気遣って、見守り隊のような役目も担っています。オカリナ、大正琴、ハーモニカといった多様なボランティアが訪れているほか、一人暮らしのご近所さんが散歩がてら立ち寄り、利用者とお茶を飲んで帰っていくという嬉しいエピソードもあります。	0				
	運営推進会議を活かした取組み(外部評価項目:3)	評価				
重点項目②	武豊町にある3つのグループホームはすべて同じ法人ということもあって、3事業所での合同開催が続けられています。『各事業所の良い点は学び、向上点は互いに協力し合って是正する』という取組みが自然に定着し、例えば当事業所ではいちご狩りにチャレンジすることができています。利用者と一緒におこなえるという発想がなかったので、他事業所の実践が大いに刺激となり、実現の運びとなったものです。					
	市町村との連携(外部評価項目:4)	評価				
重点項目③	『地域包括支援センター管轄の同じ地域、という点を踏まえておれば幾つかの事業所が合同で運営推進会議を開催してよい』、とのことはつい最近全国的に始まった制度ですが、武豊町では先進的に何年も前からおこなわれています。各事業所が相互に刺激し合えるメリットは大きく、武豊町の計らいで運営推進会議を通して行政との密な連携が叶っています。	0				
	運営に関する利用者、家族等意見の反映(外部評価項目:6)	評価				
重点項目④	利用者とは生活の中で思いや意向を汲み取るとともに、家族には本人の1ヶ月の様子を写真入りで届け、日々移ろいゆく現状を理解してもらえるように努めています。また面会や電話だけでなく、家族も誘っての食事会を年1回開催しているほか、毎回の行事には家族にも案内を出しており、双方向のコミュニケーションを大切にしています。	0				
重	その他軽減措置要件	評価				
点項	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	0				
目 ⑤	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	0				
(5)	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	0				
総 合 評 価						

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の 実践状況(外部評価)が適切であること。
- 2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確 認 事 項
	(例示)
2. 事業所と 地域のつきあ	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。
い	② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かし	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。
た取り組み	② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
-fam-alili	(例示)
4. 市町村と の連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。
1,20,	② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関	① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。
する利用者、 家族等意見の 反映	② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。
	③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	